



人の輪つむいでV・初の酒米づくりに挑戦！

今回のタイトルは『田植えV（ファイブ）と誉れのつどい』。東海地方が梅雨入りした6月13日、72人の仲間が集って5年目の楽章がスタートしました。会場はおなじみ鷺山邸。

田植え体験を中嶋世話人の田んぼで堪能し、鷺山邸北の3反の田んぼに植えられた『誉富士』の苗周辺の足踏み行進も。田んぼの雑草押さえと、土の攪拌が目的で、都合2時間近く農作業に没頭です。開始前、鷺山主宰は「5回を意味するVですが、こんなに続いたのは人の輪の勝利、というVでもありません」とあいさつ。4年間は掛け米（お酒の量を増やす）用の高天神コシヒカリ作りを手がけてきましたが、今回は楽会員が待望の静岡県酒造好適米『誉富士（ほ



まれふじ』を入手。会としては初の酒米づくりに挑戦！楽会お酒づくりの第2段階といえます。仕込み・蔵出しが今からとても楽しみです。

宴は午後1時近くからスタート。定番旬の具材たっぷりの料理を、新会員ピアニスト藤田廣明氏のピアノ伴奏、中溝ひろみ嬢のヴォーカル、篠塚まるみ世話人のフルーツによる演奏が彩り、楽しいひとときとなりました。毎回1~2割の新参加者が来てくださり、人の輪がますます広がってきました。

開運土井酒造のホームページに注目！

<http://www.kaiunsake.com/>

土井酒造さんのHP右上には、なんと花の香楽会のアイコンが！！

通信のバックナンバーから懐かしい楽会活動の歴史を振り返れますよ。もちろん、最新情報もここでチェック。



誉富士とは？

静岡県で初となる酒米（酒造好適米）。「静系（酒）88号」は、県農林技術研究所が平成10年から研究を重ねて誕生。17年以降、栽培農家と醸造酒蔵を増やし続けている。ネーミングは公募作から楽会顧問の前県知事が選んだ。造られた酒の評価は高い。

晩成熟期の品種のため、田植え、稲刈り活動は、例年より約1月遅れとなる。



◆秋の話で何ですが…第2楽章は10月17日（日）の予定

秋の行楽予定は決まったぜ。今からスケジュール表に『稲刈り』と記しておこう。空白期にも何やら楽しい取り組みができればいいな。持ち込み企画のある方は事務局（酒のすぎむら）まで。

鷺山主宰は『掛川駅木造駅舎を保存・活用する会』にも協力しています。

会ではただいま木造駅舎保存寄付を募っています。詳細は掛川市HPにてご確認ください。花の香楽会としても、6/15に活動費から1万円を寄付させていただきました。